

『聖書 聖書協会共同訳』発行記念公開講演

今を生きる

私たちと

神の言葉

なぜ聖書を

翻訳し続けるのか

キリスト教は他の宗教とは異なり、
聖典を絶えず翻訳し続けています。

その違いを理解する鍵は、「受肉した言(ことば)である
キリストを人と文化に受肉させるという、神から与えられた

使命にある」と聖書翻訳の専門家デ・ヴリース氏は述べています。

キリスト教が聖書を翻訳し続ける理由を、共に学んでいきましょう。

■ 日時： 2019年 2月 23日(土)

14:00 - 16:15

■ 会場： 上智大学四谷キャンパス

6号館 101号室

■ 講師： ローレンス・デ・ヴリース

(オランダ・アムステルダム自由大学教授)

■ リスポンダント： 月本 昭男

(上智大学神学部特任教授、立教大学名誉教授)

■ 受講料： 無料 事前申込み制 (先着700名)

12月10日(月)より受付を開始し、1月15日(火)以降に整理券を発行いたします。
定員になり次第締め切らせていただきます。

■ 整理券のお申込み： お申込みは、Web登録ページからお願いいたします。

URL: <http://bible.or.jp/soc/soc16.html>

ファックス(03-3562-7227)または郵送(下記翻訳部宛)でもお申込み
いただけます。



■ 講演に関するお問い合わせ：

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 一般財団法人日本聖書協会 翻訳部
TEL. 03-3567-1989 E-mail: lecture@bible.or.jp

主催：一般財団法人日本聖書協会 共催：上智大学神学部

後援：日本聖書学研究所 日本旧約学会 日本新約学会 日本ウィクリフ聖書翻訳協会



今を生きる 私たちと 神の言葉

—なぜ聖書を翻訳し続けるのか—

講師

ローレンス・
デ・ヴリース
Lourens de VRIES



1955年、オランダ・バフロ生まれ。アムステルダム大学にて学位取得(Ph.D.)。現在、アムステルダム自由大学人文学部教授。専門は聖書翻訳、言語学。聖書協会世界連盟(UBS)の翻訳コンサルタントを25年務め(1986-2011年)、そのうち17年間は聖書翻訳者、翻訳コンサルタントとしてインドネシアに滞在。大学ではオランダ聖書協会の援助のもと、聖書翻訳の博士号を含む学位取得プログラムを指導。2004年のオランダの共同訳聖書の中心メンバーの一人で、現在、同聖書改定のための諮問委員会会長を務める。著書に *The Greater Awyu Languages of West Papua* (De Gruyter Mouton, 2019), *The Korowai of Irian Jaya. Their Language in Its Cultural Context* (Oxford University press, 1997) ほか。

リスポンダント

月本昭男

Akio TSUKIMOTO



1948年、長野県生まれ。東京大学大学院人文学研究科博士課程中退。ドイツ・チュービンゲン大学にて学位取得(Ph.D.)。立教大学名誉教授。現在、上智大学神学部神学科特任教授。専門はアッシリア学、聖書学、宗教学。「聖書協会共同訳」事業では、旧約の編集委員として重要な役割を果たした。著書は『古代メソポタミアの神話と儀礼』(岩波書店、2010年)、『詩篇の思想と信仰』I-IV(新教出版社、2003-2013年)、ほか。訳書は『ギルガメシュ叙事詩』1996年、『旧約聖書 I 創世記』1997年、『旧約聖書 IX エゼキエル書』1999年(すべて岩波書店)、ほか。

『聖書 聖書協会共同訳』 発行記念特別講演

プログラム

2月23日(土) 14:00-16:15

- 13:30 開場
- 14:00 開会挨拶
- 14:10 『聖書 聖書協会共同訳』の紹介
- 14:35 講演 ローレンス・デ・ヴリース氏
- 15:25 休憩
- 15:40 応答 月本昭男氏
- 16:00 総括 川中仁氏(上智大学神学部教授)

* デ・ヴリース氏の講演は英語で行われ、プロジェクターによる日本語訳がつかます。また、質疑応答は司会者が通訳を行います。

会場 <上智大学四谷キャンパス6号館> ご案内図



〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/
四ツ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩5分

ファックスお申し込み先 03-3562-7227

2月23日(土) 『聖書 聖書協会共同訳』 発行記念公開講演

フリガナ

フリガナ

お名前

連名

ご住所

お電話

ファックス

E-Mail